

目標達成計画

作成日：平成 22年 12月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の回数が多すぎて事務処理に困っている。	制度の廃止または回数の縮減。その方向で制度改訂を主張していく。	選挙のときに改訂を主張する候補に投票、業界団体でも提言する。機会を探してマスコミに訴える。	12ヶ月
2		情報公表と外部評価は機能が重複している。しかも入所サービスの需給が決定的に乖離している状態で雇用創出効果以外には実質的に何の効用もない。	統合および簡素化。利用者定員1人あたりの介護要員配置人数と年度ごとの決算公表で十分、その方向で制度改訂を主張していく。	同上	12ヶ月
3	33	終末期の医療的対応について本人および家族との事前の話し合い。	あらかじめ文書で確認しておく。	重要事項説明書の同意書に明文化する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。